

F-REI 枠・記載例

(様式1)

令和6年度「いわき市産業イノベーション創出支援事業」 実施計画書

<input type="checkbox"/> 研究団体名	〇〇〇〇実証・構築事業
<input checked="" type="checkbox"/> F-REI 採択事業名	
代表者名 ※事業所名及び代表者職氏名	株式会社ウメモト工業 代表取締役 産業 太郎

担当者職氏名 株式会社ウメモト工業 開発部長 創出 史郎

担当者連絡先 電話：0246-12-3456 FAX：0246-12-7890

Mail：××××@××××.com

※以下の項目について、募集要領P5に記載の採択基準を踏まえながら、簡潔に記載してください。

研究団体構成員 又は福島国際研究教育 機構の研究活動構成員 (団体名)	株式会社ウメモト工業	株式会社タイラ
	オナハマ株式会社	
事業概要	目的	近年〇〇〇不足による〇〇〇が課題となっており、F-REIからの受託研究「〇〇〇実証・構築事業」において、〇〇資源を燃料とした〇〇型〇〇〇システムを構築し、その効果を確認・実証することとしている。 しかしながら、〇〇〇システムの構築にあたって、学会等に参加し、最新の技術開発の動向や研究成果等の詳細な情報収集を行うための、参加負担金や旅費は、受託研究費用の対象外とされている。本事業により、関連する情報収集活動を行い、開発に反映させることで、開発の精度を高める。
	今年度の実施内容	※過去に本事業の支援を受けた研究団体等は、これまでの実績も記載してください。 令和6年の事業内容 〇〇〇システムの構築に必要な情報収集を行うため、〇〇学会に参加し、最新の技術開発の動向や研究成果等の詳細な情報収集を行う。また、収集した情報をもとに、開発中の〇〇システムに適合した運転管理プログラムを試作し、評価・検証を行う ・8月：〇〇学会への参加 ・10月：プログラミング試作 ・12月：試験・評価
事業開始及び 事業完了の時期	開始(予定) 令和6年7月1日 完了(予定) 令和7年2月28日	
事業実施体制と役割	・株式会社ウメモト工業(全体総括)：〇〇プログラムの設計 ・オナハマ株式会社(関係者調整)：〇〇プログラムの試験・評価 ・株式会社タイラ：〇〇の調査、経理	
事業の特徴	コンソーシアム内の各企業が持っている技術やノウハウ、ネットワークを活用することに加え、業界が持つ最新の情報や技術を適合させた研究開発を進めることで、より高度な研究開発成果が期待できる。	
事業の効果	本事業で実施する内容は、受託研究において研究開発に必要な不可欠な取組みとは認められていないが、様々な角度からの試験・評価を行うことで、構築するシステムの熟度、精度を高めることができるものであり、よりスムーズな社会実装に結び付けることができる。	

(様式2)

F-REI 枠・記載例

令和6年度「いわき市産業イノベーション創出支援事業」 収支計画書

<input type="checkbox"/> 研究団体名	〇〇〇〇実証・構築事業
<input checked="" type="checkbox"/> F-REI 採択事業名	
代表者名 ※事業所名及び代表者職氏名	株式会社ウメモト工業 代表取締役 産業 太郎

担当者職氏名 株式会社ウメモト工業 開発部長 創出 史郎
担当者連絡先 電話：0246-12-3456 FAX：0246-12-7890
Mail：××××@××××.com

(収入の部)

(単位：円)

項目	金額	摘要(積算根拠)
補助金	300,000	—
自己資金	100,000	—
合計	400,000	

(支出の部)

(単位：円)

項目	予算額	摘要(積算根拠等)
報償費	50,000	〇〇技術開発に係るセミナー講師謝金 50,000円(〇〇大学 〇〇教授)
旅費	100,000	先進地視察に係る旅費 75,000円(25,000円*3名) 〇〇大学〇〇教授費用弁償 25,000円
開発費	100,000	試作機の開発 100,000円 (材料費 50,000円、加工費 50,000円)
消耗品費	0	
印刷製本費	0	
通信運搬費	0	
委託料	100,000	試作機の性能評価試験委託料 100,000円(〇〇〇研究所)
使用料・賃借料	40,000	会議室使用料 40,000円
その他の経費	10,000	会議時飲み物代 4,000円 出張時手土産代 6,000円
合計 (補助対象概算経費)	400,000	

F-REI 枠・記載例

令和6年度 F-REI 受託事業実施計画書

事業テーマ名			
〇〇〇〇実証・構築事業			
事業期間			
令和5年度から令和8年度			
参画機関・企業名及び役割			
・株式会社ウメモト工業：〇〇技術の開発、全体総括 ・株式会社タイラ：〇〇の調査、経理 ・オナハマ株式会社：〇〇機器の設計、各機関との調整 ・ナコソ大学：〇〇の試験、データ管理			
事業期間における全体の事業概要及び年次計画			
近年、〇〇〇不足による〇〇〇が課題となっている。本事業では、その課題解決に寄与することを目的として、〇〇資源を燃料とした〇〇型〇〇〇システムを構築し、その効果を確認・実証する。 また、〇〇〇の過程で生成される〇〇を用いて、〇〇〇用〇〇の製造が可能かどうか検証する。			
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
〇〇の試験・分析・考察 地域企業への調査 データ採取 情報収集	〇〇試作機の開発 〇〇〇の試験・分析 セミナーの実施 先進地での情報収集	システム試作の為の研究 評価試験 データ採取	システムの試作開発 システムの設置・データ 採取 評価試験
令和9年度	令和10年度	令和11年度	
—	—	—	
令和6年度の実施内容とスケジュール			
1. 試作開発 (1) 〇〇試作機の開発 〇〇と〇〇を掛け合わせた試作機を開発する。			
2. 試験・分析 (1) 〇〇試験の実施 〇〇による効果について、〇〇〇装置を用いた試験を行う。 (2) 〇〇試験の分析・考察 〇〇試験の結果について分析・考察し、レポートを作成する			
3. セミナーの実施 (1) 〇〇〇のためのセミナー 〇〇大学〇〇教授を招き、コンソーシアム内でセミナーを実施する。			
4. 情報収集 (1) 先進地視察 〇〇〇が進んでいる〇〇地域への視察を行う。			